

令和8年度 上下水道部 経営方針

令和8年4月
上下水道部長 神内 明宏

1 部・室の基本方針

(1) 部の組織目標	(2) 「まちづくり構想 福知山」で掲げる政策・施策の実現、及び行政改革大綱 2022-2026 の取組推進に向けた部内の運営方針
①利用者への水道水の安定供給と持続可能な施設整備の推進 ②汚水等の適切な処理による利用者等の快適な生活環境の維持向上と持続可能な施設整備の推進 ③民間事業者との連携強化による良質なサービス提供体制の構築と運用 ④経営戦略と整合する企業経営の推進と上下水道ビジョンに沿った施設・設備の更新	■まちづくり構想 福知山 ○基本政策「9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち」 ○政策目標「9-2 産業基盤の確立」 ○施策「計画的な上下水道の整備」 ・上下水道施設の計画的更新及び耐震化の推進 ・上下水道施設の統廃合の検討 ・上下水道事業のビジョン及び経営戦略に基づく健全経営の推進 ・下水道事業の広域化・広域連携の検討 ■行政改革大綱 2022-2026 ○基本目標「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」 ○政策「活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保」 ○政策目標「11 産業基盤の整備」 ・計画的な上下水道施設の整備 ■SDGs のゴール「6・9・11・14・17」

2 令和8年度の重点目標

No	重点目標	現状認識（重点目標の背景にある現状と課題、社会の動向など）	取組内容及び成果目標	達成状況（年度末評価）	達成度
1	上下水道事業等包括的民間委託事業の円滑な運用	人口減少など、将来的に料金収入が減少していくことと、民間のノウハウを活かした質の高いサービスを提供するため平成31年度に水道事業等包括的民間委託を導入した。第二次包括的民間委託（令和6年～令和10年度）の開始に伴いパートナーシップ会議により業務課題の解決に取り組み業務を遂行する。	【取組内容】 包括的民間委託のパートナーシップ会議により、各業務の更なる向上を図る。パートナーシップ会議及び第三者アドバイスカンファレンスの実施。第三次包括的民間委託に向けた課題整理と方針の検討。 【成果目標】 適切な業務の遂行とパートナーシップ会議による業務の効率化。		

2	上下水道事業経営審議会の開催による経営改善の推進	上下水道事業の適正かつ効率的な経営を図るため、令和2年度に条例に位置付けて常設設置（公開開催）したもので、継続的、総合的に各種計画等を審議する。	【取組内容】 経営審議会を開催し、経営状況等を報告・確認するとともに、経営改善に向けた議論を行う。 【成果目標】 審議会を年3回以上開催し、料金のあり方を含めた経営改善について諮問を行う。		
3	水道事業ビジョンの計画的展開（水道基幹管路の更新と耐震化）	管路の中でも重要な役割を担う基幹管路の耐震化を最優先に取り組んでおり、老朽化した基幹管路の計画的な耐震化更新を推進する。	【取組内容】 水道管の更新に併せて耐震管を布設し基幹管路の耐震化を推進する。 【成果目標】 基幹管路更新延長L＝622m 基幹管路耐震化率42.7%（0.6%向上）		
4	水道事業ビジョンの計画的展開（給水水質の安全性の確保）	令和8年度から水質基準項目となったPFOS・PFOA対策を含め、水源保全及び水質管理体制の強化による安全な水道水の供給に努める。	【取組内容】 適正な施設運転管理と水質検査計画に基づいた適法な水質検査により、精度の高い水質管理を実施する。 【成果目標】 水質基準不適合率0%の維持		
5	下水道管路の全国特別重点調査に基づく計画的な管路更新	内径2m以上かつ1994年以前に設置された下水道管路（延長2410m）について、調査点検を実施した結果、561mにおいて、5年以内に改築または修繕が必要と判定されことから老朽化対策として当該区間の対策実施を計画的に推進する。	【取組内容】 5年以内に対策を実施する計画とし、計画的な改築・修繕を推進する。 【成果指標】 改築・修繕が必要と判定された下水道管路の詳細設計を実施する。		
6	雨水管理総合計画の策定	下水道による浸水対策を実施する上で、当面・中期・長期にわたる下水道による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定め、浸水対策を計画的に推進する。	【取組内容】 地域毎の整備目標・対策目標の検討を行う。 【成果指標】 懇話会を年2回開催し、意見聴取及び合意形成を図る。		

7	下水道事業の包括的民間委託（W－P P P）の導入	持続可能な運営に向け、官民連携の更なる推進が求められており、施設の老朽化や技術職員の減少といった課題を踏まえ、W－P P Pの導入検討を推進する。	【取組内容】 現状の維持管理や施設の老朽化状況等を踏まえた適切な事業スキーム、リスク分担の整理を行い、令和11年度からの管理・更新一体マネジメント方式の導入準備を進める。 【成果指標】 事業目的及び背景の整理を行うとともに、官民事業スキームの方向性等の基本的な考え方について整理し、実施方針策定に向けた前提条件の明確化を図る。	
---	---------------------------	---	---	--

【達成度】

区分	達成の度合	定量的な判断基準	定性的な判断基準
A	目標を著しく上回る成果をもって達成	達成水準に対して 150%以上の成果	期待を大幅に上回る成果
B	目標を上回る達成	達成水準に対して 110%以上の成果	期待以上の成果を挙げた
C	目標通りに達成	達成水準通り（100%）の成果	ほぼ期待通りの成果を挙げた
D	目標を未達成	達成水準に対して 100%未満 複数の成果目標に対して一部未達成	期待通りの成果に至らなかった
E	目標を著しく未達成	達成水準に対して 50%未満	期待を大幅に下回る結果

3 所管部署が関与する庁内推進組織

推進組織の名称	役割等	所管事項（概要）	令和8年度取組内容	進捗状況（事務局課のみ記載）
防災対策推進会議	関係課 （下水道課）	・治水対策の完成等を受け、ハード・ソフトを含めた防災対策を推進 ・防災施設の管理運用 ・避難体制の更なる取り組み ・新たな治水・内水対策の検討	防災施設管理運用計画に基づき実施中	